

学 校 教 育

第1節 概 要 〔義務教育課〕

1 指導行政の基本方針

調和と統一のとれた教育課程の編成と、その完全実施により、「豊かな人間形成をめざす生がい教育」の実現を目指す学校教育活動を展開する。

2 指導組織

義務教育課における指導担当主幹、主任指導主事ほか9名の指導主事（うち3名高等学校兼務）と教育事務所指導主事、市教育委員会指導主事及び指導委員によって小・中学校の指導に当たった。

教育事務所 指導区分	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき
指 导 主 事 数 (指導課長を含む)	10	10	7	10	4	8	8
同 上 市	5	5	0	1	0	1	2
教 科 等 指 导 員 数	7	7	8	7	10	8	7
生 徒 指 导 委 員 数	3	4	2	3	1	2	2

3 学校教育指導の重点

（1）確かな学力を身につけさせるとともに、知・情・意・体の調和のとれた児童生徒の育成に努める。

① 「学校教育指導の重点」「学習指導の展開」「生徒指導の充実」を「教育福島」に掲載し、学校教育指導の重点を明確にするとともに、各教科における基礎的、基本的な学力の育成に努めた。

② 教育課程研究協議会を、小・中学校教育研究会と共に催し、教育課程実施上の諸問題の研究と、その改善充実に努めた。

③ 教育課程研究指定校（小・中5校）、へき地教育研究指定校（小2校）を指定し、指導内容、方法の研究改善に努めた。

④ 道徳教育講習会、生徒指導講座の開催、道徳教育協同研究推進地区（文部省2地区）、生徒指導研究指定校（2校）を指定して、道徳教育、生徒指導の充実徹底を図った。

なお、生徒指導委員（17名）を委嘱して、生徒指導の徹底に努めた。

⑤ 算数、数学現代化講座、理科教育現代化講座、技術・家庭科実技講習会を開催して、学習指導の現代化に努めた。

⑥ 指導職員研究協議会（年2回）、指導職員研修講座（年

1回）、指導課長会（年3回）を開催して、各教育事務所と指導のあり方について研究協議を実施し、指導行政の一体化を図った。

（2）教職員の資質と指導力の向上に努める。

① 新任教員に対する研修内容を充実し、その使命感の確立と指導力の向上に努めた。

② 幼稚園教育、中堅教員、教頭、校長等各種研修会の内容を充実して資質の向上を図った。

③ 教職員等中央研修会に教職員を派遣し、資質の向上に努めた。

④ 海外教育事情を視察するため、長期14名、短期30名をヨーロッパ、アメリカ、アジアに派遣し、資質の向上に努めた。

⑤ 福島県小学校教育研究会等11団体に対し、財政的援助と主体的研修体制の育成のための指導助言に努めた。

⑥ 小・中学校教職員研究論文を募集し、教職員の自己研修を奨励し、その専門性の向上を図った。

（3）へき地教育、幼児教育の振興に努める。

① 複式学級担当教員研修会を開催するとともに、へき地教育研究指定校（2校）を指定し、へき地における学習指導の改善に努めた。

② 「体育・道徳複式学級学習指導計画例」を作成し関係学校に配布して、複式学習指導の充実を図った。

③ へき地教育指導者講座（宮城）へ6名、全国へき地教育研究大会（秋田）へ5名派遣し、へき地に勤務する教職員の資質向上と、士気の高揚に努めた。

④ 複式学級学習指導の効率化を図るため、シート式磁気録音機、オーバーヘッドプロジェクターの購入費のうち2分の1額を限度として補助をした。

⑤ 幼稚園教育課程研究集会や、幼稚園実技講座、幼稚園指導者講座を開催して、幼稚園教員の指導力の向上に努めた。

また、幼稚園の経営及び教育内容の充実を図るために、幼稚園教育指導資料、「園経営の手びき」を作成し、県内各幼稚園に配布した。

⑥ 幼稚園教育課程研究校（文部省）の研究実践の成果を普及拡充するように努めた。

〔高等学校教育課〕

1 指導行政の基本方針

一人一人の生徒の能力・適性の伸長と調和のとれた発達を目指して、指導内容の重点化を図り、また、教材の精選や指導方法の改善等をすすめることにより、学校教育のいつそうの質的充実に努めた。

昭和51年度は、昭和50年度の反省をふまえ、指導の重点目標を設定してその達成に努力した。